

烏山線利用向上対策特別委員会研修報告

本委員会は、昨年10月14日から15日にかけて長野県にありますJR小海線に「ローカル線利用向上について」「ハイブリッド車両について」視察研修を行いました。

14日は、小海線営業所に訪問し、営業所長さんをはじめ各駅の駅長さん方と意見交換を行いました。この路線は、沿線自治体で連絡協議会を設置しており、観光客の増加や利用客の向上に取り組んでおり、観光パンフレットの作成、イベント列車の運行（俳句、ワイン、農作物の販売など）などを企画して小海線のPRやイメージアップに努めているそうです。

翌日は、景観すばらしい八ヶ岳山麓の高原を走るローカル線のハイブリッド車両「こうみ」に乗車いたしました。この車両は、ハイブリッドシステムを搭載した車両で環境に優しく、また、ユニバーサルデザインを採用しており、人にも優しい設計になっています。宣伝効果も高く、観光客の利用も大変多くあり、すばらしい車両でありました。

わがJR烏山線にも26年春頃から蓄電池車両「スマー。ト電池くん」が運行予定となりました。

この車両は、非電化区間の新たな環境負荷の低減方策として「蓄電池駆動電車システム」を採用した新型車両です。今までのディーゼル車から発生する排気ガスや二酸化炭素、騒音の低減が図れることや、スピードアップと電車区間までの乗り入れができるなど利便性の向上が期待されています。導入後は、烏山線利用向上のみならず、市全体の観光振興と地域活性化に大いに期待できるものであります。

本委員会としても待ち望んでいた蓄電池駆動電車の導入が決定し、今後ともより一層、委員会活動に励んでいきたいと思っております。

烏山線利用向上対策特別委員会 委員長 小森幸雄



研修でJR小海線の中込駅を訪問